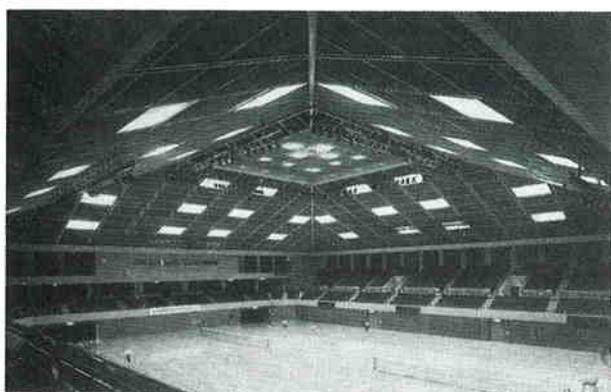




照明普及会だより

第6号

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
平成2年1月



尼崎市記念公園総合体育館



ジャスコシティースポーツランド



アスレチッククラブ インペックス



夕張マウントレースイスキーリゾート

照明普及賞の見直しについて

平成元年度の事業計画である「照明普及賞の規則改訂」作業が終了し、今年度の照明普及賞の応募もこの改訂された内容ですではじまっている。改訂の目的は事業計画に記されているとおり、照明普及賞の一層の効果向上を図るためと、昨年度改定された照明普及会規則との整合を図るためである。

改定原案の作成は、今年度新設された「照明普及賞規則改訂専門部会」でおこなったもので、下記のような委員構成である。

- 主査 吉田 博（東芝ライテック）
委員 八木 安博（関西電力）
〃 浜倉 義昭（東北電力）
〃 原田 憲正（岩崎電気）
〃 綱島功太郎（小糸工業）
〃 米田 徳光（松下電工）
〃 国友 茂（和光電材機器）
〃 渡辺 治（三菱電機照明）
〃 松本 登（日立照明）

改訂内容の概要は以下のとおりである。

(1) 照明普及賞規則

照明普及賞としての表彰内容を明確にするために、照明普及賞として次の2項目について表彰する旨を明記することとした。

- ① 優秀照明施設賞（現行の施設に関するもの）
- ② 照明普及功労賞（現行の普及に関するもの）

なお賞状および副賞にも今年度より、上記の項目を明記する予定である。

(2) 照明普及賞推薦要領

優秀照明施設賞、照明普及功労賞ごとに設けることとし、照明普及功労賞については内容の改訂はないが、優秀照明施設賞推薦要領は以下のとおり（抜粋）である。

- ① 受賞候補者は、本会の維持員の推薦のあったものに限る。ただし、自薦は除く。
- ② 推薦の範囲は次のとおりとする。
 - a. 優秀な照明施設の企画、設計、施工、完成などに功績のあった個人、法人、グループ
 - b. 施設はその年内に完成されたものに限る。
 - c. 照明施設は電気設備技術基準、消防法など関連法令に適合していること。
 - d. 推薦は、1施設1件を原則とし、対象箇所

（複数でも可）を明記すること。

- ③ 受賞候補の推薦は、照明普及賞推薦書の書式により平成2年1月31日までに照明普及会の各地区運営委員に提出する。

以上の内容のうち主な改訂点は以下のとおりである。

- ① 「維持員会社の照明施設は表彰から除外」とされていた内容を削除している。ただし、維持員会社の照明施設の自薦は除くこととした。
- ② 推薦は施設全体ではなく、対象箇所を明記することとした。
- ③ 推薦書の提出先について「各電力会社担当課」とされていたものを「照明普及会の各地区運営委員」（昨年度照明普及会規則改訂事項との整合）と改めた。

(3) 照明普及賞推薦書の様式

推薦書の様式については、

- ① 優秀照明施設賞、照明普及功労賞それぞれの目的に対して記入しやすい内容とするために、両者別の様式とした。
- ② 推薦書には、推薦者以外に内容問い合わせ先となる連絡者欄を設けた。

ことが全体の改訂点で、推薦の内容が明確になるように特に優秀照明施設賞については大幅な変更となっており、記入欄の項目は以下のとおりである。

- ・施設名
- ・施設場所
- ・完成年月
- ・候補者（複数名が記入できるようにした）
- ・推薦理由（照明の特長を記入する）
- ・推薦者
- ・施設場所付近図
- ・施設の概要（施設の用途、規模、特長）
- ・照明設備（光源、器具、照度、照明の特長など）
- ・写真説明
- ・連絡先（内容問い合わせ先）

以上のように様式の内容は、照明学会誌の照明のデータシートのそれに準じたものとしている。

（吉田 記）

地区普及活動状況

1. 中国地区

当地区では、照明の普及に関する事業は、学会支部のかわりに「中国照明改善委員会」が実施し、62年度からはライトアップを中心とした「都市の景観照明の推進」を主な活動としてきました。具体的には、「新しい都市照明事例集の発行」、「ライトアップ実験への協力」などがあり、その概要を以下のとおり紹介する。

・新しい都市照明事例集の発行。

この事例集は、昭和62年に創刊号を発行し、その後第2号を、そして昨年6月に第3号を発行した。これらの事例集は、中国電力や照明メーカー等を通じて、行政、商工会議所などに配布し、気運の醸成と実現のための運動を展開している。



新しい都市照明第3号の表紙に使われた広島城

・ライトアップ実験への協力

各地のイベント等に併せ、有名な公共建造物、歴史的・文化的建造物等のライトアップ実験に協力するとともに、照明設備の恒久化をすすめている。

次に「滝」をライトアップした珍しい実験例を紹介する。

〔岡山県新見市 絹掛の滝〕

この滝は新見市の玄関口に位置し、市の重要文化財に指定されている。四季おりおり変化する周囲の景観と、滝の優美な姿がよく調和し観光の名所となっている。地上に設置された3基のメタルハライドランプに照らされたその姿は、昼間とは別の荘厳さがあり、訪れた観光客を驚嘆させていた。

(中国地区 山沢幸二)



絹掛の滝ライトアップ

2. 四国地区

4県で都市照明の研修会を開催

四国支部では、昭和63年11月9日の坂出を皮切りに、高知・松山・徳島で各商工会議所・四国電力(株)などの共催により、都市照明についての研修会を開催した。

照明に対する社会のニーズは、従来からの機能重視型から快適さ・楽しさなどを追求する方向に変化しつつある。今回の研修会は、都市計画に指導的立場にある方々を対象に、今では都市の景観づくりに欠かせなくなった照明について改めて考えてみようと思ったもの。

研修会ではまず都市景観に照明をうまく取り入れた事例をスライドで紹介。そのあと、東芝ライテック(株)の村上幸三郎氏を講師として迎え、「都市および商店街活性化のための照明のあり方」をテーマとする講演が行われた。

村上氏からは、「有名な建造物だけでなく、例えば水門や公園の樹木など何気ないものに光を当てるだ

けで趣は随分と違ってくる。ライトアップは街づくりのスパイスである。実施にあたっては、建物に万遍なく光を当てるのではなく、わざとムラや影をつくり、どの部分を美しく見せたいのかたくらむ(計算する)ことが大切だ。都市機能を高めるために、もっと照明に配慮を。」との提言があった。

近年は四国においても都市再開発や市制100周年記念事業などに取り組む都市が多く、都市照明に対する住民の関心も高くなっている。

各会場とも、今後の照明改善の参考にしようと、行政機関や商店街の関係者などが多数参加、また、マスコミ各社も取材に訪れ盛況であった。

(四国地区 細谷正嗣)



開催状況

	坂 出	高 知	松 山	徳 島
開催日	11月9日	1月30日	1月31日	2月23日
場 所	坂出商工会議所	四国電力(株)高知営業所	東京第一ホテル松山	ベルモニーパレス
参加人員	約50名	約30名	約60名	約30名
共催団体等	坂出商工会議所 坂出市照明近代化委員会 坂出市商店街連合会 坂出商店経営研究会 四国電力(株)坂出営業所	高知市街を明るくする会 高知電気設備協会 四国電力(株)高知営業所	松山商工会議所 松山地区照明指導員協会 四国電力(株)松山営業所	徳島商工会議所 四国電力(株)徳島営業所

刊行物紹介

照明教室 No.68「照明のQ & A(仮題)」

照明普及会ではより多くの方々に照明に対する関心を深めていただきたく「Q & A」といった形式で照明教室にて過去3回にわたり発刊してまいりました。お陰をもちましていずれも御好評をいただきました。

照明教室専門部会では、これまでの見なおしや反省も含め、御利用いただきやすくすることをテーマとして下記の予定で準備を進めております。

(1) 記載方式

“質問”～“回答”～“補足説明”の順序で、どこが答えで、どこが関連知識であるかを明確にする。

(2) 記載内容

- ・用語に関するQ & A……………12件
- ・光源、器具に関するQ & A……73件
- ・照明設計に関するQ & A……………38件
- ・その他のQ & A……………12件

全部で135件、その他付録等含まれます。

(3) その他

- ・発刊時期……平成2年2月
- ・価格等………目標正価1,000円(約100頁)

(事務局 記)

「あかりの日」

のキャンペーンを実施

今年も、照明普及会は関連3団体と共催し、「あかりの日」のキャンペーンを実施した。1879年10月21日、アメリカのトーマス・エジソンによって、実用的な白熱電球が発明された。この歴史的な日を記念し、10月21日を「あかりの日」と制定、毎年この日に、「あかりの日」の啓蒙を目的に白熱電球とあかりの小冊子を入れた特箱を街頭配布するキャンペーンを実施している。今年は、10月21日が土曜日に当たったため1日繰上げ、10月20日に行われた。キャンペーンも今年で9回目を迎え、年々盛り上がりを見せ、沖縄を含め10地区22ヶ所で実施された。実施した場所はつぎのとおりです。

北海道(札幌・函館)、東北(仙台・青森・岩手・秋田・山形・福島・新潟)、東京(都内2ヶ所)、北陸(金沢)、中部(名古屋)、関西(大阪)、中国(広島)、四国(高松・徳島・高知・松山)、九州(福岡・鹿児島)、沖縄(那覇)

(仁科 記)

平成元年度事業報告

(平成元年8月～12月)

- | | | |
|--------|--|--|
| 8月24日 | 事業連絡会
○九州電力本館会議室にて、①平成元年度事業経過報告ならびに事業計画 ②各地区照明普及報告 ③学会関係連絡事項 ④その他について審議を行ない、夕刻より“よかとピア”の夜間照明設備見学会を行なった。また、翌日、全電化住宅展示場および照明普及賞受賞施設の見学会を行なった。 | ○照明教室68「照明のQ & A」の執筆進行状況について調整し、今後のスケジュールを決定した。 |
| 9月11日 | 照明教室専門部会
○照明教室68「照明のQ & A」の執筆分担ならびに今後のスケジュールについて話し合った。 | 11月9日 企画推進委員会
○平成元年度事業の推進状況について審議を行ない、今後の進め方について意見交換した。 |
| 9月12日 | 普及会だより専門部会
○普及会だより第6号の編集計画および執筆分担、スケジュールを決定した。 | 11月16日 あたらしい照明専門部会
○あたらしい照明109号「商店街路特集号」の執筆分担を行なった。 |
| 10月4日 | あたらしい照明専門部会
○あたらしい照明109号「商店街路特集号」の応募施設について検討を行ない、再募集することとした。 | 11月20日 ライトアップ事例集作成専門部会
○全国のライトアップ施設の事例収集を行ない、約220例が候補となり、今後のスケジュールならびに執筆の仕方について審議を行なった。 |
| 10月20日 | あかりの日キャンペーン
○全国10地区にて盛大に催された。(詳細は同誌4ページに掲載) | 12月7日 運営委員会
○平成元年度事業経過および次年度計画
○学会連絡事項について審議、検討を行なった。 |
| 11月2日 | 照明教室専門部会 | 12月14日 普及会支援体制整備検討専門部会
○維持員間の支援の仕方についてフリートークを行ない、次回具体策について審議することとした。 |

(事務局 記)